



ステージ衣装など
華やかで個性的な
皮革素材を手掛ける

株式会社 墨田キール

SUMIDA CUIR CO.,LTD



株式会社 墨田キール
〒131-0041 東京都墨田区八広 4-9-2
代表取締役 長谷川 憲司
TEL.03-3617-8551
FAX.03-3617-8553

Business

- ◆ 企業
- ◆ クリエイター

墨田キールはファッションを華やかにする個性的な皮革素材を手がけてきました。演劇やミュージシャンのステージ衣装をはじめ、デザイナーや企画担当者がイメージしたデザインをそのまま革で再現する加工技術「ファッション用素材なら墨田キール」と定評があります。

スプレーでの塗装をはじめ、インクジェットプリントやシルクスクリーン、転写プリント、箔押し、型押しなどを駆使した複雑な加工、革と異素材のハイブリッド加工など、様々な色や柄や輝きを駆使してデザイナーの要望を叶えているのです。



代表取締役
長谷川 憲司

デザイン×先進性 時代を反映するファッション用皮革



「弊社にしかできないことを絶えず模索しています。箔やフィルムの色を数多くストックしているので、下地×フィルム×箔の組合せは無限です。」と長谷川社長。デザイナーやクリエイターからのオリジナル素材の相談にも熱心に対応してくれています。

製品とOEMのブランド「カラフルキールボックス」は東京産の豚革の特性を最大限に生かし、革の染色から製品までを一貫して製造しています。27色で展開し「フラミンゴ」、「クリームメロンソーダ」といったユニークなネーミングとともに微妙な色合いの違いを巧みに表現。スマホケース、パスケース、ピアスをはじめ、幅広い製品を提案し、OEM、ノベルティのニーズに応えています。



また新型コロナウイルス対策としてマスクケースを開発。東京ソラマチの墨田区産業観光プラザ『すみだまち処』で行うイベントでの販売も上々の滑り出しとなりました。

「個性的な表面効果を楽しむ皮革素材と抗菌加工を施した生地を貼り合わせたケースがおかげさまで売れています。このほか、ハンドペイントなどアート感覚の革づくりも好評です。製作過程の動画をSNSで公開する構想も練っています。」

墨田キールでは、デザイン性、ファッション性を求めるデザイナーやクリエイターに寄り添い、一緒に新しい皮革マーケットを開拓しています。

アメ豚

高級カバン、ランドセル等に
使われるタンニンめししの
エコレザー

ヘリンボーン

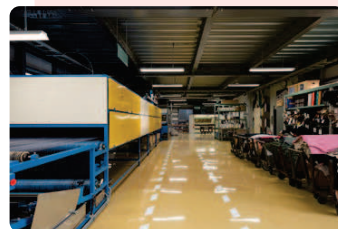
箔とフィルムの
組み合わせにより、
光の反射が色を
ゾーンンに発します。



最新の工場から 皮革素材の魅力を発信

2020年T.M.Y'sが新工場をオープン。墨田区内で新しい工場が設立されるのは約20年ぶりとのこと。4階建ての建物は爽やかなミントグリーンがアクセントとなり、遠くからも目に留まりやすくなっています。

1階にはステンレス製ドラムや高圧プレス機など大型の機械。厳密な温度管理が必要なめし作業のために温度調節ができるドラムを新たに導入しました。2階には大型レーンを備えた塗装機、3階には移動式の革乾燥機も設置。フロアの一角には革を展示できるショールーム。



「まず一般の方に見てもらうことをイメージして、この工場の導線をデザインしました。安全性を確保しながら、1階は加工・染色、2階は仕上げ場、3階は乾燥場・展示室と、作業の流れで見えて頂けるように、工場の全体像がイメージできるレイアウトにしています。また4階からの荒川の眺めが素晴らしいので、ここは一般の方と私たちのスタッフとが交流できるような、ラウンジにしたいと思っています」と代表取締役の渡邊守夫社長は笑顔で話します。



100色以上の染色に
加工も施す



有限会社 ティー・エム・ワイズ

T.M.Y's CO.,LTD.

有限会社 T.M.Y's
〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-14-21
TEL.03-5630-8189 FAX.03-3612-5111
tmy_s3@yahoo.co.jp

営業 加藤友樹
代表取締役 渡邊 守夫



Business

- ◆ 企業



T.M.Y'sでもコロナの影響で、約7割を占めていた靴用の革の売れ行きが一気に滞りました。だが渡邊社長は発想を切り替え、早めに靴から衣料向けの革づくりへとシフト。現在はビッグやジープといった小判ものだけでなく、牛革の半切が扱えるように準備もしています。

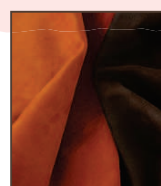
三代目の加藤友樹さんは「このなめしや染色の技術は、一度失ってしまったら二度と再現できないので、なくしてしまうのは余りにももったいない。自分自身もこの伝統ある仕事に誇りを持っていて、将来につなげていく必要があると感じます。常にチャレンジを忘れない父を心から尊敬しています」

今後はSNSでの情報発信や、ECサイトでの革の販売などに着手し、若い人たちを巻き込んだムーブメントを起こしていきたい、と意気込みを語ってくれました。

Recommend

羊革スエード 防水革

羊革のスエードを防水した革

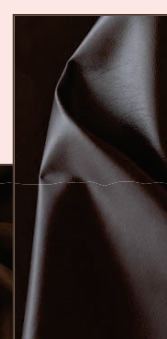


主にシープのスエード革を
常時100色ほどの在庫を揃え、
フィルムや箔を貼ったり、
エナメル加工、型押しをするなど
個性的で注目される革も
開発しています。



代表取締役
渡邊 守夫

ラム・ソフトナッパラン
衣料用に作った0.75mmの羊革。
裏面をコーティング。



Recommend



クリエイター達に
向け小ロットでの
注文にも対応

長坂染革株式会社

NAGASAKA SENKAKU CO.,LTD.

豚革をはじめ牛革、
ゴート等のタンニン鞣しを
中心に仕上げをしています。
ヌメ革の素材感を大切に
手作業により革の魅力を
十分に引き出す革削り手
心にかけています。



長坂染革株式会社
代表取締役 長坂 守康
〒124-0006 東京都葛飾区堀切 1-34-8
TEL.03-3691-1161
FAX.03-3691-1512
nagasaka_senkaku@yahoo.co.jp



代表取締役
長坂 守康

Business

- ◆ 企業
- ◆ クリエイター



革・もの・ひとをつなぐ クラフトマンシップ

皮革を起点に、ものづくりとひとをつなぐ、
同社のクラフトマンシップ。長坂社長をはじめ
各スタッフの胸にそっと灯り、ジャパンレザー
の未来を照らす。



重厚感のあるヌメ革（タンニン鞣しの固い
革）から、繊細なインクジェットプリントまで
守備範囲は広いが、豚革の魅力をよりよく引
き出すことも心掛けています。

「ひとつひとつのご依頼に丁寧にお応えで
きるよう努力しています。地道にやっていると
なで『また頼みたい』と言ってもらえるの
がうれしいです。こうした積み重ねで東京の
革づくりに携わる一員として、できる限り次の
世代へつなげていきたい」と代表取締役の長
坂守康さんは語る。

近年ハンドメイドマーケットの需要拡大に合
わせ、個人で活動するクリエイターが増加。
長坂染革では小ロットの注文にも受入れ体制
を整え、培ってきた技術力と経験で対応して
いる。



さらに業界関係者からの工場見学の問合
わせも増えているので、業務に支障がない範
囲内で対応している。

「これまで有力メーカー、セレクトショップ、百
貨店ほか、たくさんの関係者にご覧いただき
ました。革の基礎知識を学ぶ機会がない皆
さんにレザーの魅力をお伝えできたらと思いま
す。皮革業界のためになりますし、社会貢献
の一助になればいいなと。弊社は浅草エリア
から離れているのですが『浅草エラウンド』
関連企画にもご協力させていただいています。」

Recommend

ナチュラルレザー

染色やワックス等の加工に
適した素朴なタンニン鞣し革

プリント革 + アルファ

インクジェットプリントした後に
各種加工を加えます



純白のエコレザーをはじめ
いくつもの新技術を開発

株式会社ニシノレザー

NISHINO LEATHER CO.,LTD.

株式会社ニシノレザー
〒131-0042
東京都墨田区東墨田 3-5-3
TEL.03-3616-4961
FAX.03-3613-4602



Business

◆ 企業

世界で評価される 純白のピグスキン

ニシノレザーを代表する素材が「純白のピ
グスキン」小さな子供や肌が弱い人が触れ
ても安全なホルムアルデヒドが出ない純白の
革を作り上げた。

通常はクリーム色で固く仕上がるタンニン
鞣しの革を純白でソフトに仕上げるために、
オイルや薬剤の配合や温度管理などに何度
も試行錯誤を重ねようやく完成させた。

また開発だけではなく、安定して量産する
ために、他の色と混ざらないように「純白専
用」のドラムや乾燥機も用意し、工程もしつ
かり管理している。

従来の革下地は薄い色がついているため、
淡い色を染めると濁ってしまうことがあったが、
この純白の下地は発色がよく繊細な色も染め
られる。パステルカラーのバリエーションが増
え、ユーザーからの評価も高い。

また、革を乾燥する際の「板張り」という
昔ながらの手法を守り続けるのは都内タン
ナーでは同社のみとなった。一枚一枚の革を板
の上に張り、釘で固定。風が通り抜けるス
ペースでゆっくり時間をかけて乾燥させている。
通常よりも素材の表面が平板になり品質が向
上するという。



その他にも生皮（きがわ：鞣し剤を使わ
ないで仕上げる）と呼ばれる半透明の革や他
社では扱っていない難しい注文の革も一から
開発してしまふ。

ヨーロッパでは食文化の違いから豚革の生
産が少なく、ピグスキンは希少な高級皮革
素材と認知されているという。

「日本の皮革業界ではピグスキンというと、
シューズのライニング（靴の内側・裏張りとも
ばれる部分）用の素材、という固定概念を持
っている人が多いのが残念でなりません。付
加価値性が高く、存在感のある皮革素材を
つくって認識を変えるきっかけになれば」

と、お客様から求められる本当に良い革を
作るため今日も現場で試行錯誤を続けている。

研究開発となめし・染色・仕上げ・
後加工の一環工程により、
天然素材である「革」の性質を
活かした高品質な素材作りに
取り組んでいます。



代表取締役
西野 佳伸

ベジタン # オリジナル

植物タンニンでフワッと
ぬくもりのあるなめし。

Recommend

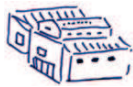
エコレザー バリエーション

革の厚さや手触りの
希望に応じた下地素材を
作ります





なめしから加工までを
一貫生産



福島化学工業株式会社

FUKUSHIMA KAGAKU KOUGYO CO.,LTD.



福島化学工業株式会社
〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-9-17
TEL.03-3616-0010
FAX.03-3616-0013
akio@fukushima-kagaku.co.jp

担当 福嶋 伸行

最近ではブランド豚を飼育する養豚場から、「自社の豚皮をなめしてほしい」とのオファーが届いたという。

「その養豚場のオーナーは、とりわけ旨味のある豚を努力を惜しまず育ててきた方。地元では地産地消の一環で、その肉を“地場産ブランド豚”として売り出していますが、今回は肉だけでなく革までも一貫して活用し、地元のメーカーが縫製する“地場産のバッグ”として世に出すお手伝いをさせていただきます」と話す。

Business

◆企業

福島化学では、クリアなホワイトの発色が美しい「オルガノホワイト」を開発。エコレザーであるうえに、インクジェットプリントの大地としても人気が高い。傷や肌荒れが少ない原皮を選り分けるので、全体のうち一割程度しか取れない希少な素材だ。こちらの事務所画像データを送れば、インクジェットプリントまで一貫して行うことができるのも強み。

「最近ではノクロム、ノンホルマリンの『オルガノII』も完成し、エンカルなものづくりにこだわるクリエイターなどに支持されています」と福嶋伸行さんは話す。



担当
福嶋 伸行

人と環境にやさしいものづくりにこだわったノクロム、ノンホルマリンのエコ素材「オルガノII」が好評。皮革では初の『JIS規格』抗菌防臭加工も行っています。

エコレザー「オルガノ」の技術力で、ブランド豚の皮革も製造



オイルアニリン
タンニンなめし革を
オイルで仕上げ
革らしさを表現

オルガノ ホワイト
人と環境に配慮したエコ素材



Recommend

現在はビッグレザーだけでなく、ホース（馬）やシープ（羊）、ディア（鹿）など、様々な動物の革にチャレンジしている福嶋さん。「これからも、一貫生産の強みと技術力を活かしたもののづくりをしていきたい」と意気込みを語る。



ラセッターなめしで
エコレザーを生産する
タンナー



山口産業 株式会社

YAMAGUCHI SANGYOU CO.,LTD.

販売代理店 一般社団法人やさしい革

山口産業株式会社
〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-11-10
TEL.03-6661-8775 FAX.03-3613-3239
Mail: info@yasashii-kawa.org
HP: https://www.y-leather.jp/（やさしい革のサイト）
Webショップ: https://www.y-leather.shop/



わかりやすく買いやすい、レザーのオンラインショップが人気

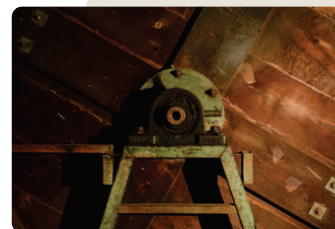


墨田区で80年以上前からタンナー業を営む山口産業株式会社。2015年からは植物の“渋”から取れるタンニン剤を使った「ラセッターなめし」で、全ての革を製造しています。

また山口さんは「革づくり」に関連するプロジェクトも数多く手がけています。害獣駆除された動物の皮を有効活用して、地域の活性化につなげる「MATAGIプロジェクト」。豚たちがストレスなく過して傷や噛み合いを減らすための「ハッピー・ビッグ・プロジェクト」等。

2019年には、モンゴル国のタンナーに向け、ラセッターなめしの技術シェアを開始。クロムなめしが主流だった工場では、排水が改善されて水資源を守ることにつながりました。

モンゴル発の「MONYレザー」で作ったラグビーボール型のクッションを、クラウドファンディングで呼びかけたところ、目標の1.5倍の支援者が集まり成功を収めています。※「MONY」とは、「モンゴル」のMONと「山口」のYを合わせたネーミング



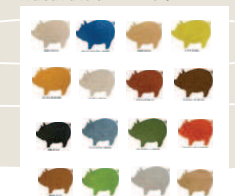
気軽に革素材を使ってみたい方は、オンラインショップを活用してみたいはいかが？



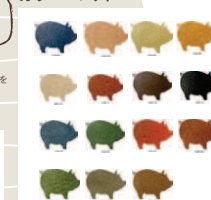
Recommend

どちらの革もなめし剤だけでなく、染色時も一切の金属系染料を使用しません

Naturaカラーパレット



Casein&WAX
カラーパレット



植物タンニンを使う人と環境にやさしい「ラセッターなめし」コロナを経てwebショップをリニューアル！



代表取締役
山口 明宏



Business

◆企業
◆クリエイター
◆一般（ネットショップ）

なめしや染色など、全行程をクリアした“特A”クラスの革は「ナチュラル」。全体の2割にキズがあるのは「ナチュラル80」。5割には「ナチュラル50」と3つに分類。手触りや発色を確かめたい方へは、5枚セットのカット見本も販売しています。

「革の販売においては、傷を隠したり顔料を上塗りするのが従来でしたが、買い手側が素材のレベル感を理解し、選別することを可能にしました。『SDGs』が契機となり、ファッションや雑貨業界から、アートシーンや街づくりへ。『やさしい革』の広がりを嬉しく思います」と山口社長。

2021年9月には「やさしい革Web Shop」がオープン。販売される革素材は、金属を使わない染料のみで染色し、クロムなどの溶剤も未使用です。革の分類には3つのクラスを設け、どうしても入ってしまう傷などの情報も、できるだけ開示しています。



シャーク・スキンを扱うタンナーです



代表取締役
日下部 剛

水に強く、強度も高い
シャーク・スキン(鰐革)は
高級素材として人気です。
独特のシボ感と使い込むほどに
艶が出るシャークスキンなら
当社にお任せください。

JFWジャパン・クリエーション2022出展企業

有限会社 日下部工業所

KUSAKABE Shark LEATHER CO.

Business

◆ 企業



有限会社 日下部工業所
代表取締役 日下部 剛
〒329-440
栃木県栃木市大平町牛久659
TEL.0282-22-2354
FAX.0282-25-6354

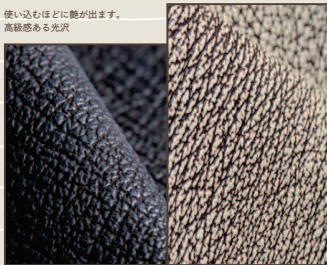
Recommend

シャーク・ブラック

使い込むほどに艶が出来ます。
高級感ある光沢

シャーク・モノトーン

表面の凹凸のシボ感を
生かした濃淡が美しい



ピッグスキン 取り扱い業者 リスト

石井製革所	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-18-7	03-3611-3237
石居みさお皮革	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-21-13	03-3616-8264
(株)エセカ	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-19	03-3613-8851
小川化学(有)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-15	03-3611-4907
(有)兼子皮革染色工場	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-14-25	03-3612-3710
(有)T.M.Y's	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-14-21	03-5630-8189
(有)ティグレ	272-0813	千葉県 市川市 中山 1-7-15	090-1658-4860
墨田革漉工業(株)	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-43-4	03-3613-2131
(株)墨田キール	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-9-2	03-3617-8551
墨田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-18	03-3617-4411
(有)田丸製革所	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-6-5	03-3611-3062
長坂染革(株)	124-0006	東京都 葛飾区 堀切 1-34-8	03-3691-1161
栃木レザー(株)	328-0033	栃木県 栃木市 城内町 2-1-4	028-224-0666
(株)ニシノレザー	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-3	03-3616-4961
福島化学工業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-9-17	03-3616-0010
本田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-16-1	03-3611-0205
本田皮革(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-12-1	03-3611-2992
まる幸商会	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-22-7	03-3611-1352
山口産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-11-10	03-3617-3868
山巳皮革染色(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-9	03-3616-2355
トウキョウレザーファクトリー	131-0046	東京都 墨田区 京島 1-8-8	03-6821-1960

皮革素材の試験や 技術の相談は

東京都立皮革技術センター



東京都の伝統的地場産業である
皮革関連産業の技術向上を目的に開所され、
皮革に関する研究、試験、技術支援や相談などを行っています。
皮革全般に対応する皮革技術センター(墨田区)と、
靴やはきものが専門の台東支所があります。

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-3-14
TEL.03-3616-1671 FAX.03-3616-1676
<http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/>

試験

皮革原材料や製品等の各種試験を行っています。
引張強度、伸び、吸湿度、耐水度などの
物理試験や、染色堅牢度、皮革の物性など
の試験をします。受託試験はご相談ください。



研究

豚皮の有効利用、ビッグスキンの新規用途開発、革の特性、
副産物・廃棄物の有効利用などの研究を中心に行っています。

技術相談

皮革製造や皮革製品に関する
諸問題について相談・助言
を行っています。

研修・講習会

皮革製品等の品質向上・生産
工程の改善を図るための研
修や講習会を開催しています。

施設見学

教育機関や企業・団体等の見
学を受入れています。
見学者数14名まで、原則水
曜日開催、見学時間1時間。

開放機器の貸出

実験棟内に鞣製・染色・仕上げ用機械等を設置し、皮革関連業界
に開放しています。新製品の開発や新技術の習得など、試験室とし
てご利用いただけます。

■開放機器：ステンレス製ドラム(大小)・空打ち太鼓・真空乾燥機・
パフイングマシン・ポリッシングマシン・吹き付け塗装ブース・
グレーニングマシン・油圧式型押しプレス・ネット張り乾燥機・その他



展示室

代表的な皮革のサンプル、
多様なビッグスキン素材、
ビッグスキンを用いた製品が
展示されています。

